広報うちこ

UCHIKO 6

June 2017
vol.236

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌

◉特集

国際交流協会の扉を開こう

◉COVER

泉谷の棚田で初めての田植え体験

田んぼって「気っ持ちいぃ～」

ぼくの夢　わたしの夢

堀川　奏（かなで）さん　大瀬小学校６年（和田）

お母さんのように、障がいのある人の支えになりたい

私は剣道を頑張っています。昨年の「子どもの日少年剣道大会」では、個人戦と団体戦で優勝し、今年も団体戦で準優勝することができました。互いに高め合う友だちがチームにいるので、負けたくない気持ちで週３回の練習に励んでいます。

夢は、障がいのある人の生活をサポートする仕事です。障がい者施設で働いているお母さんに憧れています。10歳の時、２分の１成人式で初めて夢を伝えたとき、お母さんが「大変なこともあるけれど、人に対して優しくなれる。やりがいのある仕事」と言ってくれました。中学生になると職場体験があります。どのような仕事なのか、実際に経験したいと思っています。これからも、好きな家庭科を頑張り、家では料理や洗濯、掃除など家事の手伝いをして、将来はお母さんのように、障がいのある人たちの生活をサポートする仕事がしたいです。

CONTENTS　目次　　UCHIKO vol.236　　広報うちこ 2017年6月号

2　ぼくの夢 わたしの夢／目次

3　特集　国際交流協会の扉を開こう

10　まちのニュース　狂言ワークショップ／内子バイオマス発電　他

12　うちこ往来　小田川コットントン／いかざき大凧合戦／鮎の放流　他

14　現場百景フォトリポート②内子町森林組合

16　みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!!　他

20　図書館へ行こう

21　ゆうてぃあ　Vol.194

22　町からのお知らせ　えひめ国体観覧者募集／景観まちづくりフォーラム　他

27　くらしの情報　狩猟免許取得の助成費／元気わくわく川まつり　他

30　健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医

32　住人十色

COVER
表紙の写真

◉恒例となった天神小学校の田植え体験が５月19日、泉谷の棚田で行われました。

写真は４年生の沖野陽菜（はるな）さんと祖母井優衣（ゆい）さん。二人とも田植えは初めてですが、泉谷地区棚田を守る会の上岡満榮（みつえ）会長に教えてもらったとおり、上手に苗を植えています。「水と土が気持ちいい」「涼しくて空気がおいしい」と棚田の春を楽しんでいました。

祝！ 内子町・ローテンブルク市の姉妹都市交流が総務大臣表彰

――記念特集――

国際交流協会の扉を開こう

内子町は５月８日、ドイツ・ローテンブルク市との交流活動の成果が認められ、自治体国際交流表彰（総務大臣賞）を受賞しました。小さなまちが地道に相互交流を重ねて取り組みを広げていることや、住民が主体となった交流が高く評価されています。今回の特集では、その交流の窓口となる「内子町国際交流協会」に注目して、ローテンブルク市をはじめとした、世界の人々と交流する魅力や意義、活動に関わる人たちの思いをお伝えします――。

住民の熱意が生んだ、世界への扉――

町民の思いが一つになって生まれた「内子町国際交流協会」。設立当時の話を横田光敏さんに聞きました。

内子町国際交流協会
専務理事・プランナー
横田　光敏（みつとし）さん

■9人から始まったプロジェクト

国際交流協会の設立プロジェクトが始まったのは平成5年――。「地方の国際化とは何か」をテーマにした「内子町国際交流シンポジウム'93」がきっかけでした。

若者有志6人と行政職員3人が、内子町に国際交流活動の母体となる協会を作ろうと立ち上がります。当時20代だった私は、内子町にUターンで帰ってきたばかり。海外勤務の経験があったので「町のためになにかしたい」とメンバーに入れてもらいました。週1回、毎回4時間以上も話し合い、協会の設立目的や財源確保などについて、かなり綿密に協議したことを覚えています。

■1億円分の住民の思い

多くの人に参画してほしいと考え、1口を個人3000円、法人1万円として、広く寄付を呼び掛けました。目標額は1億円――。大変でしたが、「子どもたちや町の未来のために」という思いが伝わり、かなりの口数が集まります。商工会や地元建設会社の手厚い支援や協力もあり、目標額を達成することができました。お年玉を手にして来てくれた子どもたちもいて、皆さんの気持ちに今でも身が引き締まる思いがします。

■世界とつながる扉の誕生

町民の皆さんが集まって組織した「50人委員会」などの熱心な協力により、平成6年に「内子町国

――ロ市＆内子町――姉妹都市の交流年表

内子町国際交流協会や教育委員会が窓口になり、毎年のように互いの市町を行き来して交流を深めています。その歴史の概要を年表でまとめました。

昭和	
61	・内子シンポジウム'86を開催（シューバルト市長を招へい）1
62	・町長・町民有志がロ市を訪問
63	・ハッハテル市長が来町

平成	
5	・国際交流シンポジウム'93を開催 ・町長、町議会議員友好公式訪問
6	・内子町国際交流協会設立 ・町職員1人を市庁に派遣、青年1人をハム・ソーセージ作りの技術研修に派遣
7	・町民有志使節団がロ市を訪問 ・第1回青少年海外派遣事業2（以降、毎年実施）
9	・ロ市訪問団が内子町を訪問

1

2

姉妹都市盟約に調印するハルトル市長と稲本隆壽町長

総務大臣表彰の知らせに喜ぶ国際交流協会のプランナーと職員の皆さん

際交流協会」を設立。翌年から年1回の青少年海外派遣事業を柱に、外国人のホームステイの受け入れや国際理解講座、各種イベントの開催など、「Face to Face」を合言葉に、人と人とのつながりを大切にした国際交流活動を展開しています。

■総務大臣表彰を弾みに

内子町とローテンブルク市の姉妹都市交流活動が総務大臣表彰を受賞したことは、協会にとっても大変うれしく、励みになります。でも、私たちが目指す協会の姿には、まだ到達していません――。これからも皆さんの期待に応えながら、私たちの国際交流への思いを形にしていきたいです。

13 ・内子町と口市が友好都市盟約締結

14 ・口市青少年一行が内子町を訪問（16年まで毎年実施）

16 ・内子町国際交流協会設立10周年記念事業「内子フェア」（～17年）3

19 ・ハルトル市長初来町

23 ・内子町と口市が姉妹都市盟約を締結。両市町で記念事業を実施

25 ・内子手しごとの会が口市を訪問

26 ・内子町国際交流協会設立20周年記念事業を実施

27 ・口市第2市長・第3市長が来町

28 ・姉妹都市5周年を記念し、両市町訪問団が相互訪問 4

4

3

ローテンブルク市 ヴァルター・ハルトル市長

～市長からのお祝いメッセージ～

受賞は両市町の熱意のたまもの

内子町が総務大臣表彰を受けたという知らせが届きました。内子町の皆さんと稲本隆壽（たかとし）町長に、心からお祝いを申し上げたいと思います。受賞は内子町とローテンブルク市との姉妹都市交流への熱意、長年にわたる青少年海外派遣事業の取り組みが、日本政府に高く評価された証拠です。おめでとうございます。

今回の受賞は当然だと思います。「若者は異文化に触れ合って、理解し合って、それによって自分の思考を広げるべき」という稲本町長の思いが、会えば会うほど分かるからです。その考えは現代のネット社会で、人格形成や青少年自身が未来の目標を見つけるための重要な基礎になると思います。

これからも両市町の若者たちの交流や内子手しごとの会との友情を深めながら、内子町とローテンブルク市の親睦関係がさらに強くなることをとても楽しみにしています。

10月にはローテンブルク市の訪問団が内子町を訪れます。今回は全員を派遣できないほど希望者が多く、来年の内子町訪問を企画し始めました。それは市民の内子町や日本の文化への興味や、内子町との姉妹都市関係を大切にする思いの表れだと思います。

今回の受賞を私たちも一緒に喜んでいます。内子町の皆さんと稲本町長のご健康とご多幸をお祈りしています。

Rothenburg

第22回青少年海外派遣団に聞きました

ローテンブルク市の魅力

海外派遣団の子どもたちは、どんなところを見て、どんなことを感じているのでしょうか？ 28年にローテンブルク市を訪れた生徒たちに、その魅力を伝えてもらいます。

第22回青少年海外派遣事業の派遣団の皆さん

世界の人々を魅了するローテンブルク市

ローテンブルク市の正式名称は、ローテンブルク・オプ・デア・タウバー。「タウバー川を望む丘の上の赤い城」という意味だそうです。面積は41.75㎢、人口約1万1000人で、市壁に囲まれた旧市街地には約2,500人が住んでいます。赤い屋根や石畳など、中世の面影を残す町並みは「中世の宝石」と呼ばれ、世界中から大勢の観光客が訪れています。

ローテンブルク市の起源は12世紀まで遡ることができ、現存する「レーダー門」や「マルクス塔」はその頃に建てられたものです。町並保存の市民運動の歴史も古く、100年以上も前から始まります。大戦の敗北直前の空爆で、当時保存されていた歴史的建造物の約4割を失ったときも、市民は再生の道を選びました。戦後の食糧難にもかかわらず、町並再建に精魂を傾ける姿に、全世界から寄付が集まり、今も修復が進められています。

市民の皆さんは古来よりシュピタール門に刻み込まれた「歩み入る者にやすらぎを、去りゆく人に幸せを」を胸に、人々の平和な未来を願いながら、伝統的な町並みで世界中の人を温かく迎え入れています。

＼高さ52メートル／

【マルクト広場と市庁舎】

神山　凌聖（りょうせい）さん（内子中3年）

マルクト広場周辺が印象的でした。特に市庁舎にある展望台の眺めが最高です。赤い屋根も、壁の色もきれいで、おしゃれな建物が多いのがよく分かりました。

ローテンブルク市の人は優しくて気さくで、話しやすかったです。ホストファミリーとドイツ料理を作ったことが、いい思い出になりました。

【聖ヤコブ教会】

町の主教会「聖ヤコブ教会」は、150年以上の建築期間を経て完成した。写真は「十二使途祭壇」。ドイツ国内でも非常に芸術的価値の高い祭壇

【木組み小屋と泉】

町の泉の中で最も美しいといわれる「ゲオルクスの泉」と、泉を囲むように建つ２軒の木組み小屋。旧精肉・舞踏館（左）とヤークストハイマー・ハウス

【タウバー渓谷】

ブルク公園から見えるタウバー渓谷の眺望。タウバー川に架かる二重橋や、古い教会、点在する水車小屋など美しい風景が一望できる

【プレーンライン】

有名な分かれ道。左はジーバース塔、右はコーボルツェラ門につながる。２つの建物と美しく修復された家々を一度に見られる観光スポット

【市壁】

鬻田　奏（そう）さん（小田中３年）

旧市街地を囲む市壁がすごかったです。市壁の上部には巡視路があって、壁の穴から見える景色がすごくきれいでした。門や塔もたくさんあって、観光スポットになっていました。市壁やブルク公園で「内子町」の名前を見つけたとき、ローテンブルク市とのつながりを感じて、うれしかったです。

【シュトリッフラ・パン屋】

上岡　由季（ゆき）さん（五十崎中２年）

クッキー作りを体験したパン屋さんがかわいくて好きです。見たことのないパンがたくさんあり、食文化の違いを感じました。

中世の面影を残した町並みを、肌で感じることができて良かったです。住む人は規制や制約があって大変だと思うけれど、古き良き町並みを残そうという思いに感動しました。

開（ひら）いた扉の先は――

国際交流は地域の活性化や人材育成につながることが期待されています。ローテンブルク市との交流でも、内子町を見つめ直す人々が増え、新たなまちづくりの推進力になっています――。
国際交流の意義や魅力について、国際交流協会の設立当時から関わりプランナーとして多くの派遣生を見てきた山岡晋さんと、中学生の頃に海外派遣事業を経験した２人に話を聞きました。

中学３年生のときに第15回青少年海外派遣事業に参加

Yoshioka Wakana
吉岡　若菜さん

一人一人との出会いが宝物

海外派遣で「食」に興味を持ち、管理栄養士を目指して広島県の大学へ進学しました。今は小学校で栄養教諭の講師をしています。

国際交流を通して変わったのは、視野が広がり積極的に行動できるようになったことです。26年４月にローテンブルク市の訪問団が広島県に立ち寄ったとき、弟のホストファミリーにお礼を言いに行きました。初対面の人ばかりで言葉もあまり通じないのに、喜んで受け入れてくれて、一緒に広島観光をさせてもらいました。

人と人とのつながりが増えるのも国際交流の素晴らしさの一つ。家族が増えたみたいで、一つ一つの出会いが大切な宝物になっています。私の人生を充実させてくれた国際交流協会に、感謝の気持ちでいっぱいです。

思い出の写真やホストファミリーからの手紙を大切にしまっている吉岡さん

中学３年生のときに第４回、昨年に引率者として第22回青少年海外派遣事業に参加

Ninoue Masafumi
二上　雅史さん

将来の選択肢が増える「国際交流」

中学生のときに参加した海外派遣で、初めて外国の人と会話しました。ローテンブルク市の人たちは優しくて、心と心とがつながる温かさを感じました。でも自分の言いたいことが伝わらない悔しい経験も――。中学校で学ぶ英語では全然足りないと痛感しました。それから英語を頑張り、今は英語教師になっています。あの経験がなかったら、違う道を歩んでいたかもしれません。

子どもたちには「海外に行くのは将来の選択肢を広げるきっかけ」と伝えています。多感な時期にさまざまな経験をすることで、必ず人生のどこかで役に立つと信じています。内子町でも国際交流ができる機会はあるので、英語が苦手な人も積極的に関わってほしいです。

中学生のときにお世話になったホストファミリーの皆さんと再会

■原点はまちづくり

ローテンブルク市との交流の始まりは、世界一美しい町並みを守っている同市からまちづくりを学ぼうと、オスカー・シューバルト市長を招いて開いた「内子シンポジウム'86」でした。市長は「たびたび日本に行ったが、内子の町で初めて日本の文化に触れることができた」と語り、それから人と文化の交流が少しずつ広がりました。

■国際交流で自分を知ろう

国際交流の経験がある人の多くは「海外を見て、改めて自分の国や町を見つめ直した」と語ります。異文化に触れて、いかに自分自身を知らないかに気付いたそうです。世界を知ることで、判断の比較対象が増えたり、自分や町の良さを再発見したり、その後の人生に大きな影響を与えています。

■新しい世界への扉はすぐそこに

内子町国際交流協会が目指すのは、町の人たちみんなが参加できる国際交流――。青少年海外派遣事業の他にも、国際理解講座や外国語講座、国際交流ボランティアなど、海外に行かなくても内子町でできる国際交流がたくさんあります。あなたも少しだけ勇気を出して、この新しい世界への扉を開いてみませんか――。

国際交流は子どもたちの将来、まちの未来のためになる――

国際交流協会理事・
プランナー
（内子小学校校長）
Yamaoka Susumu
山岡　晋さん

内子町国際交流協会は設立当初から、「まちづくりのできる人づくり」を目指しています。他市町では観光や経済を中心とした交流をする協会もありますが、内子町では「人の交流・文化の交流」を大切にしています。世界の人々との交流を鏡として自分を映し、地域を映すことで、自分の生き方や地域の在り方を考えることにつなげてほしいという願いからです。

国際交流の素晴らしいところは、人生を豊かにしてくれること――。そして、幼児からお年寄りまで、誰でもいつからでも取り組めることです。互いの国を行き来することだけが国際交流ではありません。外国の人たちに、自分たちの町の歴史や文化などを日本語で語ることも、立派な国際交流なのです。

当協会では青少年海外派遣事業にも力を入れています。将来を担う子どもたちが豊かな国際感覚を養うことは、町の未来のためになると考えるからです。子どもたちが自分自身は何者で、今どこにいて、どこに向かいたいのか――。「自分の座標軸」を持つことで、より広く豊かな感性で互いの人権を尊重し、人のためと郷土・社会のために尽くすことができる人材になれると思います。

第１回の海外派遣団の報告会で、生徒が涙を流して感動したことを語る姿を見たとき、この事業は子どもたちの将来と町の未来に大きな影響を与えると確信を持ちました。今、元派遣団の子どもたちも立派な大人になっています。協会のプランナーになってくれた子、「恩返し」の気持ちを形にしてくれる子、ふるさとの内子町を大切に思ってくれている子――。国際交流活動を続けてきた私たちにとって、その成長を見ることが何よりも大きな喜びとなっています。

ゆうてぃあ HEARTFUL UTIA
UTIA Uchiko Town International Association
公益財団法人 内子町国際交流協会

プランナーを募集しています！

国際交流事業の企画や運営をするプランナーを随時、募集しています。現在、年齢や職業を超えて20人ほどが楽しく活動しています。興味のある人は、一度ご連絡ください。

【問い合わせ】内子町国際交流協会事務局
☎０８９３（４４）２１１４

内子町に広がる伝統芸能の世界「狂言ワークショップ」

内子町内の各小学校の児童（688人）を対象とした「狂言ワークショップ」が4月27日に内子座で、5月17日に共生館で開かれました。

ワークショップでは狂言師の茂山千三郎（せんざぶろう）さんが、狂言には笑い方や泣き方などの「様式」があることを分かりやすく説明。代表の児童たちが舞台に上がり、立ち方や歩き方、声の出し方などの基本を指導してもらいました。

次に茂山さんを含む4人の狂言師が、「柿山伏（かきやまぶし）」と「附子（ぶす）」の2つの演目を実演。子どもたちは、狂言師たちの動きやせりふに大きな笑い声を上げるなど、舞台に釘付けになっていました。

また5月16日には「内子こども狂言クラブ」の初稽古があり、30人が参加しました。10回の稽古を経て、11月23日に開かれる茂山狂言で、成果を披露する予定です。

1_狂言の「泣き方」を教えてもらう　2_「附子」の一場面　3_大声で笑う子どもたち

酒六酒造が2年連続の快挙「全国新酒鑑評会」で金賞受賞

新酒鑑評会の2年連続金賞に喜ぶ、酒六酒造㈱の皆さん

「全国新酒鑑評会」で酒六酒造㈱の「京ひな」が2年連続で金賞を獲得しました。

新酒鑑評会は清酒の品質と製造技術の向上を目的に、酒類総合研究所などが毎年主催。明治44年から続く歴史ある会です。今年は全国から860点が出品され、242点が金賞に選ばれました。

代表取締役の武知直之（なおゆき）さんは「米がややかたく、酒造りが難しい年だったので、受賞は大変うれしい。これからも技術を向上して、いい酒造りで地域に貢献したい」と喜びを語りました。

全国広報コンクールで広報うちこが入選2席を受賞

全国の市町村が28年中に発行した広報紙などのうちから、優秀な作品を表彰する「平成29年全国広報コンクール」（日本広報協会主催、石原信雄（のぶお）会長）の審査結果が発表され、広報うちこ28年12月号が広報紙部門（町村部）で、3位にあたる入選2席を受賞しました。

27年の広報部門で特選、28年の一枚写真の部で特選を受賞し、今回で3年連続の入賞となります。

これからも町の皆さんに愛され、親しまれる広報紙づくりを目指して頑張りますので、ご支援をよろしくお願いします。

広報紙町部で入選２席を受賞した『広報うちこ』12月号

楽しい、おいしい、棚田体験
山本隆弘さんと児童が棚田で交流

泉谷の棚田で5月19日、天神小学校（井伊重昭校長）の4年生22人が田植え体験活動を行いました。田んぼに入った児童たちは、土の感触に驚きながらも、楽しそうな声を上げていました。

今年は、元バレーボール日本代表の山本隆弘さんとパナソニックパンサーズの川村慎二監督も参加。一緒に汗を流した後に、棚田米のおにぎりを食べるなど、交流を深めました。山本さんは「田植えは大変な作業。農家の皆さんに感謝して、お米をいっぱい食べよう」と子どもたちに呼び掛けました。

子どもたちと一緒に田植えを楽しむ山本隆弘さん（左）

林業の新たな光に期待――
内子バイオマス発電プロジェクトが始動

来年6月の発電開始に向け、手を組み合う関係者の皆さん

㈲内藤鋼業と新エネルギー発電に取り組む洸陽電気（神戸市）が5月17日、内子町役場で「内子バイオマス発電所（仮称）」の事業に着手したことを記者発表しました。

発電機は木質ペレットから生成した可燃性ガスで駆動し、年間約5700トンの木質ペレットを消費。発電料は年間約811万キロワット時で、一般家庭約2500世帯の電力消費量に相当します。

稲本隆壽町長は「木材価格が低迷する中、山に新たな価値を見いだす事業。大きな期待を寄せている」と話しました。

心からの寄付金に感謝します
「内子ふるさと応援寄付金」

28年度は全国から365件・796万円の寄付が寄せられました。（累計4571件、5085万1196円）

「内子ふるさと応援寄付金」は、国のふるさと納税制度に基づき、20年度に設けられました。

寄付金は内子町の美しい景観や環境の整備、まちづくりのために活用します。

【問い合わせ】
総務課　政策調整班
☎0893(44)6151

●28年度寄付者

- 上杉　誠一様（兵庫県）
- 嵜岡　秀夫様（松山市）
- 尾崎さおり様（東京都）
- 石住　勝憲様（大阪府）
- 河内　浩平様（東京都）
- 西口　功様（松山市）
- 神本　雄司様（奈良県）
- 滝川　吉繁様（松前町）
- 渡　正昭様（東京都）
- 小林　裕様（岡山県）
- 藤原　修司様（西条市）
- 上野　元一様（松山市）
- 武藤　一成様（東京都）
- 伊賀　敏雄様（大阪府）
- 尾崎　政美様（東京都）
- 滝川由美子様（松前町）
- 牛尾みさ子様（松山市）
- 足立　吉正様（愛知県）
- 堀本　隆一様（大洲市）
- 水本　世紀様（東京都）
- 小野　敦志様（大阪府）
- 本谷　隆志様（奈良県）
- 森並　勇様（兵庫県）
- 宮崎　正由様（静岡県）
- 岡本　大典様（東京都）
- 若倉　雅登様（東京都）
- 引間　多美様（東京都）
- 日浅　陽一様（松山市）

※3万円以上を寄付していただいた人のうち、公表に同意を得られた人のみ掲載しています。

春のスキー場にも楽しみがいっぱい
採って、味わって、山菜三昧――

「山菜三昧2017～春のスキー場は宝の山～」（ソルファ・オダスキーゲレンデ主催）が4月29・30の両日、白銀から新緑の世界に姿を変えたゲレンデで開かれました。

町内外から68人が参加し、ハイキングをしながら山菜採りを楽しみました。昼食会では、揚げたての天ぷらや炊き込みご飯、煮しめの盛り合わせなど、豊富な山菜料理が並び、参加者を喜ばせていました。

ゲレンデでイタドリやゼンマイを見つけた子どもたち

川のほとりでゆっくり、のんびり
「小田川コットントン」

新緑に包まれた河川敷を会場にした「小田川コットントン」（平岡自治会主催、田中光（あきら）自治会長）は4月30日、五十崎の杜（もり）で開かれました。雑貨屋やカフェなどの販売ブースが34店舗並んだほか、オカリナのライブ演奏などが行われました。協賛のE-space（イースペース）松井てるみ代表は「木漏れ日が心地いい会場で、地元の人や出店者と触れ合える」とイベントの魅力を語っていました。

爽やかな会場に多くの人が集まった

若葉風が吹く豊秋河原で
400年の歴史を感じる大凧合戦

日本の三大凧合戦の一つに数えられる「いかざき大凧合戦」（同実行委員会主催、髙倉眞一（しんいち）実行委員長）が5月5日、豊秋河原で盛大に行われました。

「ガガリ」という刃物を仕込んだ凧糸を操り、相手の凧を落とす「大凧合戦」には約100チーム・500人が参加。凧糸が切られる度に、会場から拍手と歓声が上がっていました。注目の百畳大凧揚げは、風にも恵まれて大成功。約20秒間、高さ30㍍ほど揚がり、会場を沸かせました。

また、こどもの日に合わせた初節句神事も行われ、174組（うち、町内58組）の家族が参加しました。神事や記念撮影を行った後、子どもたちの名前が書かれた「出世凧」を揚げて健やかな成長を祈りました。その他、伝統の凧踊りや出世太鼓の演奏、五十崎中学生による凧揚げ・凧踊りの対抗戦などさまざまな催しが行われ、終日、大勢の人出でにぎわいました。

髙倉実行委員長は「熱のこもった凧合戦が繰り広げられた。百畳大凧や出世凧もよく揚がり、凧揚げを楽しんでもらえたと思う」と喜びました。

1_百畳大凧揚げ。五十崎中の男子生徒など約100人が懸命に引っ張った　2_出世凧の前で記念撮影する家族　3_楽しそうに合戦に参加する大人たち　4_いい風が吹き、たくさんの凧が大空を舞った

みんなで協力して鮎を放流

中山川の「水清く、若鮎走る」立川の子どもたちが鮎の放流

肱川漁協五城支部（中野武（たけし）支部長）による鮎の放流が5月10日、中山川で行われました。立川地区の幼稚園と小学校の子どもたち41人も参加。「元気に育ってね」と声を掛けながら約8,000匹の鮎を次々に放流しました。

6年生の柴田祐輝（ゆうき）くんは「毎年楽しみにしている。これからも鮎が戻るきれいな中山川を残したい」と元気に泳ぐ鮎を見つめていました。

子どもたちに大人気のお化け屋敷

子どもたちの元気な笑顔のために――大人たちが贈るすてきなプレゼント

「第18回内子町子どもフェスティバル」（同実行委員会主催）が5月20日開かれ、約1,800人の親子連れが内子運動公園に集いました。大野哲（さとる）実行委員長は「子どもたちの元気が内子町の元気。今日は一日楽しんで」とあいさつ。お化け屋敷やはしご車体験、野村高校の移動動物園など、大人たちが考えた催しに、子どもたちの歓声と笑い声が響いていました。

「こきりこ節」を歌う石丸民謡会の皆さん

日頃の練習の成果を内子座の舞台で披露 内子町文化協会内子支部「合同芸能発表会」

「合同芸能発表会」（内子町文化協会内子支部主催、生口象亭（しょうてい）支部長）が5月21日、内子座で開かれ、21団体131人が出演しました。太鼓やオカリナの演奏、剣詩舞など38の演目が披露され、会場から大きな拍手が送られていました。生口支部長は「ちびっ子から大人まで、素晴らしい演技をしている。十分な熱気を感じた」と出演者たちを称えました。

スバルに響くアンサンブルの音色

世界各国の名曲を内子町で楽しむ「よんでんアンサンブルコンサート」

「よんでんアンサンブルコンサート」(内子町教育委員会主催)は5月21日、文化交流センタースバルで開かれました。「音楽で世界旅行」をテーマに、5人の奏者が、『アヴェ・マリア』や『子犬のワルツ』などを含む世界各国の17曲を演奏。会場を訪れた約250人の観客を魅了しました。アンコールの曲が演奏されると、観客も手拍子で参加し、会場が一体となって盛り上がりました。

現場百景
Photo Report
フォトリポート

②内子町森林組合
内子の未来を森からつくる

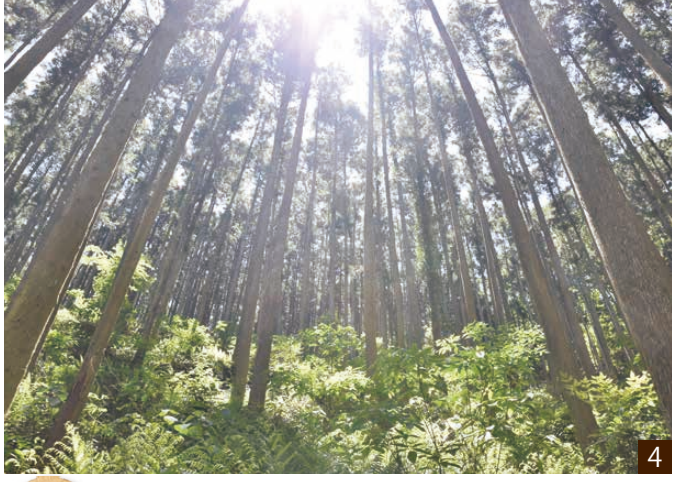
2_間伐作業。木を倒す方向を決めたら、チェーンソーで切り口を入れていく。樹齢約50年の木が大きな音をたてながら、ゆっくりと倒れる姿は大迫力――

1_内子町森林組合の若手職員の皆さん。（前列左から）神谷勇太朗さん、荒木祥吾さん（中列左から）兵頭敬一郎さん、入海央さん、藤田徹さん（後列左から）亀井洋之輔さん、増田勇樹さん、中井雅寿さん、後藤大輔さん

山と人をつなぎ次の担い手へ――

「間伐をしている山は明るさが全然違うでしょ――」。気持ちのいい光が差し込む森林の中で、そう話し始めたのは内子町森林組合の沖野武志さん。「ここは以前、森林組合が手入れをした山。私たちの仕事は山主さんが持っている山を預かり、手入れをして山主さんに返すこと。一度預かった山は、5年後10年後と長期的に管理することもある」と続けます。

山に生えている多くの木は収穫の時期を迎えています。戦後まもなくは木材の需要があり、高値で取り引きされていました。当時の人たちにとって、木を植えること



1 自然とのつながりを肌で感じる現場

3_木を運び出す道を作る作業　4_間伐後の森林。太陽の光が地面まで差し込む

2 山の未来を育てる仕事

5_山の地形の測量作業　6_機械を操作する眼差しは真剣　7_一本一本、手作業で植えられた杉の苗。これから何十年かけて収穫の時期を待つ　8_昼休み。自然の中で食べる弁当は格別　9_植えた苗が大きく育つよう、回りの草木を刈っていく作業

3 大事なパートナー

10_山仕事にかかせない道具を腰につける　11_ハーベスタ。立木の伐倒から枝払い、造材までできる高性能な林業機械　12_ドローンは人の足で入れない山の調査などで活躍　13_グラップル。人の指先のような動きで、上手に木材を積み上げることができる機械

は、次の世代のための貯金だったのです。しかし現在、木材の価値は下がってしまいました。1本で1万円にもならず、苦労して木を切り出しても、赤字になることが多いそうです。山主さんの山への関心が薄れてしまい、管理が行き届いていない山が増えていることも課題の一つになっています。

「手入れをすれば、いい木が育って山の価値も上がる。山主さんの収入にもつながる」と話す沖野さん。そのためには長期的な管理が必要で、森林組合の若手職員を育てることも大切です。「5年後、10年後にもう一度、私たちに手入れを任せようと言ってもらえるよう、山と人を育てたい。山主さんとの信頼関係を築いていけたら」と笑顔を見せます。

森林事業を総括している大鍋直幸（なおゆき）さんは「植えた苗を30～40年かけて育てる。次世代に託す部分もあるけれど、それも林業の魅力。高性能の機械を導入したり、技術が向上したりして安全面や効率面でも昔とは変わってきている。林業を目指す若者も増え、将来にも期待している。木は内子町の貴重な財産。山と人とのつながりを戻して、林業を盛り上げたい」と力を込めました。

FROM ME TO YOU

みんなでつないでリレーエッセイ

「娘の笑顔のために」

大森　裕子（ゆうこ）さん（33）＝西沖＝

子どもとピースサインをする大森裕子さん（中央）

私には、小麦粉アレルギーの娘がいます。生後7カ月の時に、アレルギーがあることが分かりました。当初は小麦、卵、乳（にゅう）のアレルギーがあり、食べさせる物に苦労しました。私自身「食物アレルギー」というものに無知であったため、どうすればいいのか分からず悩みました。主治医に相談して、少しずつアレルギーのあるものを食べさせ、体に慣らしていく負荷訓練を始めることになりました。卵と乳の負荷訓練は順調に進めることができ、食べられるようになりました。小麦の負荷訓練については一進一退で思うように進めることができず何度も挫折しそうになり、娘には食べたいのに食べられないという、我慢をさせる日々を送らせていました。それでも、「世の中には娘と同じようにアレルギーで悩んで頑張っている人たちがいる。小麦粉が使えないなら米粉を使えば良いんだ」と前向きに考えることにしたら、気持ちが楽になりました。

米粉でも、料理やお菓子を作ることができます。今では米粉を使っていろいろ作れるようになり、楽しくなりました。小麦負荷訓練は、最初スナック菓子から始めて、次にそうめんになり、それからうどんになり、今は食パンを食べています。少しずつですが小麦粉が食べられるようになっています。今後の目標はケーキを食べることです。みんなと同じ物を食べられる喜びを娘にも与えたい。そして一日も早く娘の喜ぶ顔を見るために、これからも頑張りたいです。

▼次は、窪田　真奈美さん＝西沖＝にお願いします。

わが家の一皿

SPECIAL DISH

「キャベツのごまサラダ」

●作った人

古野　俊子（としこ）さん
＝日之地＝

●材料（４人分）

キャベツ190グラム、卵１個、きゅうり40グラム、にんじん40グラム
Ⓐマヨネーズとすりごま大さじ2/3杯ずつ／醤油と酢と砂糖小さじ2/3杯ずつ、塩適量、黒こしょう適量

●作り方

①キャベツとにんじんをせん切りにし、きゅうりは輪切りにしてから塩を振ってしばらく置く。水気が出てきたら水気を切って、よく絞る。②ゆで卵を作り、フォークなどで適当な大きさにつぶす。③Ⓐを合わせて、野菜とゆで卵と混ぜ、塩と黒こしょうで味を整えたら完成。

HAPPY BIRTHDAY

おめでとう　はじめてのバースデー

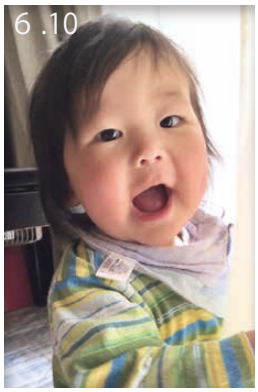
６月に満１歳になる子どもたちを紹介します。

木下　栞乙（かお）ちゃん　内子６

お外が大好き。早くいっぱい遊びたいな。

藤田　華帆（かほ）ちゃん　東沖

何でもパクパク食べます！　キラキラ笑顔が癒しです♡



小林　千紘（ちひろ）くん　内子21

おうたにボール、楽しいの大好き☆　にこにこ笑顔がだーいすき♡

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。
ぜひ、応募してください。

久保　大雅（たいが）くん　内子19第１

食べるの大好き♡　早く歩いてお散歩できるようになりたいな！

内子町子育て支援センターからのお知らせ

みんなのおはなし会「タンタン」のご案内

子育て支援センターでは、ボランティアや職員が手遊びや歌を交えながら、子どもたちに絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。参加費は無料で、どなたでも自由に参加できます。気軽にお越しください。

●**日時**　毎週火曜日
午前10時30分～11時

●**場所**　内子町子育て支援センター

【申込・問い合わせ】
内子町子育て支援センター
☎０８９３（４４）６３５５

読み聞かせの様子

33歳の園長先生「園は一つの家族」

宮岡　祥生（さちお）さん（33）川中1

内子町社会福祉協議会の保育士、宮岡祥生さん。今年4月、33歳の若さで内子保育園の園長に就任しました。内子町内では初めての30代の園長です。「はじめは戸惑いもあったが、研修先で出会った同世代の園長たちから刺激を受けた。高い志を持つ仲間に勇気をもらえたことで、自分だけが特別だという考えはなくなりました」と心境を語ります。

前園長から引き継いだのは、保育士間の連携の大切さ。「園は一つの家族。受け持つクラスに関係なく、保育士は互いに情報を共有しながら、全ての子どもたちと向き合います」と話す宮岡さん。園児一人一人に対する真剣な思いが伝わってきます。

「保育士の意見を集約して、子どもたちの成長を思い描きながら、園の方針を決める。先輩保育士にアドバイスをもらいながらも、方針がぶれないよう、園長としての意思をしっかり持つことが重要です」と力を込めます。「今は新しいことの連続。慌ただしい分、やりがいもある。これからも笑顔あふれる保育園づくりに努めたい」と目を輝かせました。

園児に囲まれ、笑顔の宮岡さん

TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

内子町は私のふるさと

FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

外国語指導助手
ジェイコブ・ストアーズ
Jacob Storrs

残念ながら、お別れの季節がやってきました。これが私の最後の記事になります。今回は内子町での思い出を振り返ります。

まずは運動会。一日中熱狂し、心を揺さぶられる体験でした。私はそんな日本の運動会が大好きになりました。特に、騎馬戦はアニメで見たことがありましたが、実在する競技だとは思いませんでした。

他に思い出すことといえば、町内駅伝を走ったことや獅子舞を練習して祭りで披露したこと、小田でのスキー、御祓へのウォーキング、子どもたちとのサッカー（子どもたちは、私よりもずっと上手でした）などです。中には過酷なイベントもありましたが、どれも楽しい思い出ばかり。何気ないことですが、迷子になったことや昨年の冬の寒さを経験したことも、内子町で暮らす日々を充実したものにしてくれました。

最後に、内子町で出会った皆さんのことを書かないわけにはいきません。皆さんがいなければ、すべては意味のないことでした。私を受け入れてくれて、助けてくれて、話かけてくれて、笑いかけてくれました。私が日本語で上手く伝えられない時も辛抱強く聞いてくれて、ありがとうございます。皆さんの存在が、日本を、特に内子町を私の素晴らしいふるさとにしてくれました。内子町を離れる時、思い出すのは皆さんです。本当にありがとうございました。

SAVE THE EARTH

くらしのエコロジー

せん定枝の処理についてお知らせします

庭木のせん定などで出る、枝の切りくず（太さ5㌢以内に限る）の処理方法を紹介します。

《少量の場合》

長さ60㌢以内に切り、内子町指定の「もやせるごみの袋」に入れ、燃えるごみの収集日に出してください。

※燃えるごみの収集日に出す場合は、指定袋2袋まで出すことができます。

《大量に処理する場合》

一度に大量に出たせん定枝（軽トラック1台分まで）は、内子町クリーンセンターに持ち込んでください。指定袋に入っている場合は、無料で引き取ります。

※指定袋を使わない場合は、袋に入れる枝と同じように切り、ひもで縛って内子町クリーンセンターへ持ち込んでください。100㌔ごとに300円で処分ができます。

※太さが5㌢以上のせん定枝の処理方法は、環境政策室までお問い合わせください。

※運搬・切り分けについて、内子町シルバー人材センターに依頼することができます。ただし、作業は有料です。金額などは、同センターにご確認ください。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893（44）6159
内子町シルバー人材センター
☎0893（44）3820

Q 広報クイズ

「広報うちこ」6月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

①楽しい、おいしい、棚田体験―。「○○○○○●○○」さんと児童が棚田で交流
②第59回水道週間スローガン。「○●○○○/そんなみずこそ/たからもの」
③林業の新たな光に期待。「内子バイオマス○●○○プロジェクト」が始動
④「内子町景観まちづくり○○○○●」
⑤えひめ愛顔（えがお）の「ジュニア○○●○○になろう」

応募方法：
ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛て先：〒795−0392
内子町役場　総務課　広報・広聴係
締め切り：6月30日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」8月号

●4月号当選者の皆さん

答え「さくらもち」　正解数38
- 横内千恵子さん　（内子11）
- 山内　桜雅さん　（田中）
- 松本美智恵さん　（松尾）
- 宮田　栄子さん　（石畳8）
- 松下佳代子さん　（上町）
- 松岡　富子さん　（上村）
- 堀本美由子さん　（中通り）
- 松田　敏江さん　（寺成）
- 城戸　睦婚さん　（伊予市）
- 外木　宏明さん　（神奈川県）

VOICE

まちの声

生ごみの悪臭対策について

□生ごみ収集地区に住んでいます。これからの季節、悪臭の被害が心配です。対策があれば教えてください。（20代女性）

■内子町では、消臭や水質改善、汚泥削減などに効果がある「えひめAI（あいいち）-1」の利用を促進しています。町の施設や自治センターの他、各集会所で町民に限り無料配布しています（農業に利用する場合は有料です）。利用方法などはお問い合わせください。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893（44）6159

図書館へ行こう

内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子３４２７番地
☎ ０８９３（４４）４１９８
http://www.town.uchiko.ehime.jp/library/
開館時間：
午前９時30分～午後６時
休館日：月曜日・月末整理日・年末年始

●「第63回青少年読書感想文全国コンクール」課題図書

《小学校低学年の部》
ばあばは、だいじょうぶ／なにがあってもずっといっしょ／アランの歯はでっかいぞこわーいぞ／すばこ

《小学校中学年の部》
くろねこのどん／空にむかってともだち宣言／耳の聞こえないメジャーリーガー　ウィリアム・ホイ／干したから

《小学校高学年の部》
チキン！／ぼくたちのリアル／霧のなかの白い犬／転んでも、大丈夫

《中学校の部》
ホイッパーウィル川の伝説／円周率の謎を追う／月はぼくらの宇宙港

《高等学校の部》
フラダン／ストロベリーライフ／犬が来る病院

●古い雑誌を譲ります

7月1日（土）～9日（日）
※一人5冊まで

●6月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家②》
▽国際交流ですてきな架け橋を！～ローテンブルク市ってどんなところ～

［おはなし会］
▽土曜日・午後2時～
6月3日　ゆりかご（エコの日）
10日　むしこまど
17日　むしこまど
24日　どんぐり会

［文学講座］
▽6月10日（土）午前10時～
▽内容　「とりかへばや物語」を読む
▽講師　村山洋子（ようこ）さん

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書

勉強したくなった人のための大人の「独学」法　和田秀樹／著
「独学」で人生を変えるチャンスに出会える。医師をしながら映画監督になるという夢をかなえた著者が、自身の「独学」法を伝授する

非営利団体の資金調達ハンドブック　徳永洋子／著
非営利団体が活動資金を調達するためのノウハウをまとめた一冊。寄付や助成金、イベント開催など、具体的に資金の調達方法を解説する

我らがパラダイス　林真理子／著
高級介護付きマンションで働く３人の中年女性。家庭で介護問題を抱える彼女たちは、裕福な入居者たちとの格差に愕然（がくぜん）とし、ある計画を企てる

♥児童図書

そして誰もいなくなった　アガサ・クリスティー／著
なぞの人物に招待された年齢も職業も違う10人の男女が、孤島の邸宅に集まったとき、殺人ゲームの幕が開いた。最後に生き残るのは……

ゆうかい・まいごどうするの？　せべまさゆき／絵・国崎信江／監修
誘拐されそうになったとき、迷子になったとき、自分の身を守るためにどのように行動すればいいのか。絵本で分かりやすく解説

すがたをかえるたべものしゃしんえほん 14油ができるまで　宮崎祥子／構成・文
身近な食べ物はどうやってできるのか。材料からの変化を写真で追いかける絵本。14は、菜の花から収穫した「なたね」が油になるまでを紹介

UTIA Uchiko Town International Association
内子町国際交流協会の情報誌「ゆうてぃあ」

事務局　内子分庁３階
☎ 0893（44）2114
fax0893（44）6137
http://utia.jp/

VOL.194

第23回 青少年海外派遣事業参加団員を募集中

ヴュルツブルク市での日帰り遠足にて

内子町と姉妹都市のドイツ・ローテンブルク市の皆さんと交流して、世界につながる扉を開いてみませんか。

●**事業の目的**
国際理解を深め、豊かな国際感覚を養い、内子町の将来を担う人材を育成する。姉妹都市であるドイツ・ローテンブルク市民との交流を通じて、友好関係を深める。

●**実施期間**
11月25日(土)～12月4日（月）　10日間

●**派遣先**
ドイツ・ローテンブルク市　他

●**参加資格**
町内在住の中学生または高校生

●**派遣人員**　12人

●**補助額**
1人当たり15万円以内（総経費の半額程度）
※町内の金融機関でローンを利用する場合は利子分を当協会で負担します。ご相談ください。

●**申込方法**
申請書に必要事項を記入し、該当先へ提出
▷町内の中学生：所属する学校長へ提出
▷高校生、町外在学の中学生：内子町国際交流協会へ提出
※申込書は、内子町国際交流協会の窓口に設置します。また同協会のホームページからもダウンロードできます。

●**選考方法**
作文・面接
※詳しくは、申込者に通知します。

●**申込期限**
6月30日（金）

●**主催**
（公財）内子町国際交流協会、内子町教育委員会

●**後援**　内子町

国際理解講座・第４弾　学んで知ろう「ネイティブアメリカン」

今回はアメリカ出身のＡＬＴ、ジェイコブさんが講師です。ネイティブアメリカンについて学び、彼らのお守りの一つであるドリームキャッチャーを一緒に作ります。ネイティブアメリカンの魅力に触れてみませんか。

●**日時**　6月16日（金）午後7時～9時

●**場所**　内子自治センター
●**対象**　高校生以上
●**参加費**　500円
●**定員**　15人程度
●**申込期限**　6月12日（月）

＼一緒に作ろう／

ドリームキャッチャーを持つジェイコブさん▶

2017 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会

君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

申込期間
5月1日(月)▼6月30日(金)
※当日消印有効

開会式・閉会式 観覧者募集

会場 愛媛県総合運動公園陸上競技場（ニンジニアスタジアム）［愛媛県松山市］

申込方法 観覧には事前にお申し込みが必要です。下記の1・2のどちらかでお申し込みください。

1. インターネットから
http://www.ehimekokutai2017.jp/ えひめ国体 検索
2. 申込用紙を郵送
※申込用紙は、愛媛県庁（各地方局・支局）または県内市町窓口等にあります。また、ホームページからもダウンロードできます。

「みきゃん広場」同時開催
愛媛の郷土料理、お土産、イベントステージなどで参加者をおもてなし！

申込多数の場合は抽選となります。

愛顔つなぐえひめ国体
第72回国民体育大会

総合開会式
平成29年 9月30日(土)
［開場 9:30 開演 10:50］
入場料金 おとな（中学生以上）…… 1,000円
こども（小学生以下）…… 500円
席種 約8,000席（指定）
●一般席 ●車いす席 ●情報保障席

総合開会式 出演

間 寛平（芸人）

眞鍋 かをり（タレント）

水樹 奈々（声優・ナレーター・歌手）

両大会式典演技 出演

ストーリーテラー「坊っちゃん」役 弥尋（俳優）

ストーリーテラー「マドンナ」役 ラブリ（モデル）

総合閉会式
平成29年 10月10日(火)
［開場 12:15 開演 13:00］
入場無料
席種 約8,000席（指定）
●一般席 ●車いす席 ●情報保障席

総合閉会式 出演

友近（芸人）

みかん（ものまねタレント）

愛顔つなぐえひめ大会
第17回全国障害者スポーツ大会

開会式
平成29年 10月28日(土)
［開場 7:30 開演 8:50］
入場無料
席種 約8,000席（指定）
●一般席 ●車いす席 ●情報保障席

開会式 出演

片岡 鶴太郎（俳優・画家）

本田 朋子（フリーアナウンサー）

ひめキュンフルーツ缶（アイドル）

閉会式
平成29年 10月30日(月)
［開場 14:00 開演 15:00］
入場無料
席種 約8,000席（指定）
●一般席 ●車いす席 ●情報保障席

閉会式 出演

本田 朋子（フリーアナウンサー）

大塚 愛（シンガーソングライター）

お問い合わせ
愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会事務局
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
詳しい情報はホームページをご覧ください。えひめ国体 検索 http://www.ehimekokutai2017.jp/
問い合わせデスク［平日9:00～18:00］
TEL 089-909-8484
※出演者に関するご質問は受けかねます。

○内子町では医療費の助成を行っています

次の事項に該当する人は医療機関で診療を受けた場合、本人負担分（保険診療以外の一部負担金は除く）を町が助成します。

《ひとり親家庭医療費助成》

●**対象**　次のいずれかに該当する家庭

▽配偶者のいない父または母が子を養育している

▽配偶者のいない祖父または祖母が孫を養育している

▽配偶者のいない兄または姉が弟妹を養育しいている

●**資格要件**　次の①～③全てに該当する家庭

①原則として父または母を被保険者とする同一の健康保険に加入していること

②前年の所得税が非課税であること

③家庭主（父または母など）が児童を監護し、生計を維持していること

●**助成期間**

・母または父…申請日から子どもが20歳に到達した日まで（婚姻した場合は婚姻日まで）

・児童…20歳未満（社会保険の被保険者の場合は対象外）

※20歳以上でも、就学中の人や重度の心身障がい者は対象となる場合があります。

※受給者証を持っている人は、6月末までに更新が必要です。

●**受給の手続き**　対象者全員の保険証、印鑑、資格証明ができる証明書・書類などを持って申請

《重度心身障がい者医療費助成》

●**対象**　次のいずれかの交付を受けている人

▽身体障がい者手帳1～2級

▽療育手帳判定A

▽療育手帳判定B（中度）で身体障がい者手帳3～6級

●**助成期間**　申請日から助成。ただし2年ごとに更新が必要です。

●**受給の手続き**　保険証、印鑑、障がい者手帳や療育手帳を持って申請

《子ども医療費助成》

●**対象**　内子町に住所があり、健康保険に加入している児童

●**助成期間**　出生の日から中学校卒業までの子どもの通院費および入院費

●**受給の手続き**

保険証と印鑑を持って申請

【申請・問い合わせ】

保健福祉課

☎0893（44）6154

コラム＊ねんきん瓦版

意外と知らない、公的年金制度のメリット

公的年金制度は、働いている現役世代のみんなで暮らしを支え合うという社会保険の考え方で作られた仕組みです。20歳以上60歳未満の人は加入が義務付けられ、きちんと保険料を納めることで、多くのメリットがあります。

●3つの安心で「万が一のとき」をサポート

国民年金には老後の暮らしを支える「**老齢基礎年金**」の他、加入中の病気やけがで、障がいの残った人を支える「**障害基礎年金**」、加入者が亡くなったとき、生計を維持されていた遺族に支給される「**遺族基礎年金**」があります。自分にもしものことがあったとき、公的年金に加入していれば、自分や家族の生活を守ることができます。

●保険料を上回る給付

老齢基礎年金は、個人が納めた保険料を積み立て、そのまま給付するというものではありません。国の税金や積立金が充てられているため、支払った保険料を上回る給付を受け取ることができます。さらに給付額を増やしたいという人には、付加年金制度もあります。

※付加年金制度は国民年金第1号被保険者または65歳未満の任意加入被保険者が利用できます。

●物価が変動しても、安定して老後を支える

物価がどんどんと上がっていくのに対して、年金額が10年前のままでは生活が苦しくなってしまいます。公的年金制度は、物価や賃金の変動に応じて年金の給付額を見直すことで、私的な貯蓄などでは難しい老後の安定的な所得保障を担っています。

【問い合わせ】

○松山西年金事務所

089（925）5105

○住民課　国民年金係

0893（44）6152

教科書展示会のご案内

保護者や町民の皆さんに、教科書への関心を持ってもらうことを目的に、30年度に内子町内の小・中学校で使用する教科書の見本を展示します。ぜひご覧ください。

展示期間
6月16日(金)～7月2日(日)

展示時間
午前9時30分～午後6時

場所
内子町図書情報館

展示される教科書の一部

【問い合わせ】
内子町教育委員会　学校教育課
(内子分庁内)
☎0893(44)2124

第59回水道週間スローガン「あたりまえ／そんなみずこそ／たからもの」

29年度ポスター

6月1～7日は水道週間です。水道水ができるまでの仕組みや水道料金、水の大切さなどについて理解を深める取り組みです。この機会に、皆さんも水道水について考えてみませんか。

《漏水をチェックしましょう》

家中の水道蛇口を閉めた状態で、水道メーターのパイロットを確認してください。その状態でパイロットが回る場合は、漏水の可能性があります。すぐに止水栓を閉め、内子町指定給水工事事業者に修理を依頼してください。なお、漏水時の下水道使用料には減免措置があります。

【問い合わせ】
建設デザイン課　上下水道対策班
☎0893(44)6158

人権コラム＊幸せへの道

スポーツと人権

全てのスポーツ選手は、競技中はもちろん練習環境や応援などでも、出身地や地位に関係なく、平等に扱われなければなりません。しかし、サッカーでは一部のサポーターが「ＪＡＰＡＮＥＳＥ ＯＮＬＹ」と書いた人種差別的な横断幕を掲げたり、大相撲では勝利した外国出身力士に「祖国へ帰れ」と野次を浴びせたりと、ヘイトスピーチなどによる人権侵害が起こっています。

指導という名の体罰や暴力があったり、先輩と後輩、指導者と競技者という力関係から、いじめやセクハラ・パワハラなどの人権侵害が発生したりすることもあります。このような言動はいかなる理由があろうとも許されるものではありません。

最近では「プレイヤーズファースト」という言葉が実践されるようになりました。文字どおり競技者のことを第一にという考え方です。スポーツは自分の意思で自由にするもので、個人の能力や適性、興味に合わせて主体的に行うべきものです。誰からも強要されるものではありません。幼いころから「プレイヤーズファースト」の環境が整った中でスポーツに親しむことで、選手自身も相手を尊重することを学び、マナーやフェアプレー精神を育むことにつながります。

29年10月には「愛顔つなぐ愛媛国体」が開催され、内子町でもライフル射撃競技やゴルフ競技が行われます。大会やスポーツを通して、人権に対する理解を深め、差別や偏見の無い豊かな人間関係を築くいい機会です。全国から訪れる選手や観客を、おもてなしの心とプレイヤーズファーストの精神で迎えて、気持ちよく競技してもらいましょう。

【問い合わせ】
内子町教育委員会　自治・学習課　生涯学習係
(内子分庁内)
☎０８９３（４４）２１１４

軽自動車税のグリーン化特例を延長

29年度の税制改正で、軽自動車税のグリーン化特例が2年間延長されました。軽減対象となる車両の燃費基準などは、下表の通りです。

●**取得期間**　29年4月1日～31年3月31日

※取得期間中に最初の新規検査を受けた車に限ります。

●**軽減対象となる年度**　30・31年度（取得の翌年度分のみ）

【問い合わせ】
税務課　軽自動車税係
☎0893（44）6153

《乗用》

対象車	軽減率
電気自動車・天然ガス自動車	75パーセント軽減
32年度燃費基準＋30パーセント達成車	50パーセント軽減
32年度燃費基準＋10パーセント達成車	25パーセント軽減

《貨物用》

対象車	軽減率
電気自動車・天然ガス自動車	75パーセント軽減
27年度燃費基準＋35パーセント達成車	50パーセント軽減
27年度燃費基準＋15パーセント達成車	25パーセント軽減

※電気自動車・天然ガス自動車を除き、いずれも排出ガス基準を満たすものに限ります。

「内子町景観まちづくりフォーラム」

●**日時**　6月30日（金）午後7～9時

●**場所**　内子自治センター

●**内容**
▽内子町景観まちづくり賞表彰
▽基調講演　『景観を保全・創造するために～京都市からの報告～』／講師・山本一博（かずひろ）さん（京都市都市計画局都市景観部部長）

●**参加費**　無料

●**申込期限**　6月26日（月）

●**申込方法**　電話、FAXまたはメールでお申し込みください。

【申込・問い合わせ】
総務課　政策調整班
☎0893（44）6151
FAX 0893（44）4300
✉ soumu-g@town.uchiko.ehime.jp

京都市の景観保全を学ぶ

29年度の介護保険料（65歳以上）をお知らせします

《納める方法》

●**特別徴収**　年金額が年額18万円以上の人は、偶数月に支払われる年金から天引きされます。

●**普通徴収**　年金額が年額18万円未満の人や次の①～③などに該当する人は、口座振替や町から送付される納付書で金融機関などに納めます。

▷①年度途中で65歳になった②他市町村から転入した③所得区分が変更になった――ときなど

※介護保険法の定めで、特別徴収が優先されます。「特別徴収から普通徴収に変更したい」など、個人で選択することはできません。

【問い合わせ】
保健福祉課　介護保険係
☎0893（44）6154

■**28年度の介護保険料表（年額）**

区分			対象	保険料
1	本人が住民税非課税	世帯全員が住民税非課税	生活保護を受給している人 ・老齢福祉年金を受給している人 ・前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	32,300円
2	本人が住民税非課税	世帯全員が住民税非課税	前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円を超え120万円以下の人	53,900円
3	本人が住民税非課税	世帯全員が住民税非課税	〃　120万円を超える人	53,900円
4	本人が住民税非課税	世帯に住民税課税者がいる	〃　80万円以下の人	64,700円
5	本人が住民税非課税	世帯に住民税課税者がいる	〃　80万円を超える人	71,900円
6	本人が住民税課税		前年の合計所得金額が120万円未満の人	86,200円
7	本人が住民税課税		〃　120万円以上190万円未満の人	93,400円
8	本人が住民税課税		〃　190万円以上290万円未満の人	107,800円
9	本人が住民税課税		〃　290万円以上の人	122,200円

内子町に移住するなら移住者住宅改修支援事業があります

内子町では空き家バンクに登録された住宅の利用促進を目的に、空き家改修や家財道具搬出などの経費を助成しています。

●対象者　次の①～④の全てに該当すること

①内子町に移住したのが28年4月1日以降

②対象の住宅に5年以上居住する

③世帯に50歳未満の人がいる

④市町村民税などの滞納がない

●補助対象事業　住宅の改修や家財道具の搬出などに必要な経費の3分の2

●補助金額の上限

▽住宅の改修　200万円

▽家財道具の搬出　20万円

※子育て世帯や愛媛県内からの移住者は、補助金額が変わります。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】

総務課　政策調整班　総合調整係

☎0893（44）6151

ふるさと納税「返礼品協力事業者説明会」

内子町では「ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）」の返礼品を充実するため、協力してもらえる個人や企業を探しています。採用のために必要な条件や注意事項などの説明会を開きますので、興味のある人はぜひ、ご参加ください。

●日時　7月6日（木）午後7時～

●場所　内子自治センター

●参加方法　内子町ホームページで要件を確認の上、電話でお申し込みください。

●申込期限　6月30日（金）

【申込・問い合わせ】

総務課　政策調整班

☎0893（44）6151

返礼品は、ふるさと納税サイト「ふるぽ」などで紹介します

国民健康保険税の軽減対象所得が見直されます

国民健康保険税は被保険者の皆さんが病院にかかったとき、医療費に充てられる大切な財源です。29年度から国民健康保険税の軽減対象所得を次のとおり見直したので、お知らせします。

《内容》

世帯の被保険者の合計所得（国民健康保険に未加入の世帯主の所得を含む）が一定基準以下の場合、所得に応じて均等割と平等割が7割、5割、2割の割合で軽減されます。5割と2割の軽減を見直し、対象となる範囲を拡大します。（下表参照）

※被保険者数には、同じ世帯で国民健康保険から後期高齢者医療へ移行した人（特定同一世帯所属者）も含みます。

【問い合わせ】

税務課　保険税係

☎0893（44）6153

（表）軽減の対象となる所得

軽減割合	28年度	29年度
7割軽減	所得≦33万円	変更なし
5割軽減	所得≦33万円＋26.5万円×被保険者数	所得≦33万円＋27万円×被保険者数
2割軽減	所得≦33万円＋48万円×被保険者数	所得≦33万円＋49万円×被保険者数

募集

狩猟免許取得の際は助成費をご活用ください

有害鳥獣による農作物の被害軽減を目的に、狩猟免許の取得費用を助成します。

《(初心者)予備講習会》

内子町鳥獣害防止総合対策協議会と内子町が、受講料の全額を助成します。

●**講習日／会場**

(1)7月9日(日)／愛媛県歴史文化博物館(西予市)

(2)7月17日(月)／新居浜市市民文化センター

(3)7月23日(日)／愛媛県生活文化センター(松山市)

●**時間**　午前9時～

●**受講料**　8000円

●**申込期限**　6月23日(金)

※会場ごとに、定員になり次第申し込みを締め切ります。

●**主催**　愛媛県猟友会

《狩猟免許試験》

受験手数料の全額を助成します。

●**試験日**

▽第1回　8月1日(火)

▽第2回　9月3日(日)

※試験の内容などは、お問い合わせください。

●**受験手数料**　5200円

※すでに他の狩猟免許を所持する人は3900円です。

●**主催**　愛媛県

●**その他**

無免許または無許可で鳥獣の捕獲を行った場合、1年以下の懲役または100万円以下の罰金が科せられます。

【申込・問い合わせ】

産業振興課　林業振興係(内子分庁内)

☎0893(44)2123

斬新な企画に助成金「県民総合文化祭」文化事業企画

県民総合文化祭に新風を吹きこむ文化事業企画を募集中。詳細はホームページをご覧ください。

●**募集期限**　6月30日(金)

●**採択予定件数**　2件

※実施経費の一部(50万円以内)を助成します。

●**応募方法**　県のホームページからダウンロードした企画書に必要事項を記入し、郵送、ファックス、メールでご応募ください。

http://www.pref.ehime.jp/h13000/29kikakukoubo.html

【申込・問い合わせ】

県文化協会事務局(県文化・スポーツ振興課内)

☎089(932)8310

FAX089(912)2969

✉bunkasports@pref.ehime.lg.jp

えひめ愛顔(えがお)のジュニアアスリートになろう

スポーツが大好きな児童・生徒を募集します。ジュニアアスリートに入って、愛媛から世界を目指しませんか。

●**募集期限**　7月10日(月)

●**対象**　次の①～③を満たす人

①県内の小4～中2年生

②土曜日・午後6～8時に行うプログラムに参加ができる人

③毎回、保護者が送迎できる人

●**募集人数**

▽小学4年生　20～30人

▽小学5～中学2年生　若干名

●**選考方法**　新体力テストの結果などで書類選考をした後、実技テストを実施します。

●**応募方法**　学校で配付される申込用紙を学級担任の先生に提出してください。

【問い合わせ】

県教育委員会　保健体育課

☎089(960)8850

FAX089(960)8860

市民農園を利用して農業をしてみませんか

市民農園の利用者を募集します。農業に興味のある人、休日に農業をしてみたい人など、ぜひご利用ください。

《エコロジーファーム七反市民農園》

・募集区画　8区画

・年間利用料　6000円

・面積　1区画50㎡

《五十崎市民農園》

・募集区画　5区画

・年間利用料　3000円

・面積　1区画50㎡

●**申込方法**　電話でお申し込みください。

※利用者は申し込み順に決定します。1人2区画まで利用可能です。

【問い合わせ】

産業振興課　農村支援センター(内子分庁)

☎0893(44)2199

▶エコロジーファーム七反市民農園の様子

催し

うちこ福祉館の行事案内

《わいわい喫茶》
●**日時**　7月3日（月）
午後1時～4時30分
●**場所**　うちこ福祉館
●**参加費**　無料

《健康講座（調理実習と講話）》
●**日時**　7月4日（火）
午前9時30分～
●**場所**　うちこ福祉館
●**内容**　「ドイツ料理」／「ドイツの食文化について」
●**定員**　15人（先着順）
●**参加費**　300円
●**持ってくる物**　エプロン、頭巾

▷講師のドレーン・アルントさん

【申込・問い合わせ】
うちこ福祉館
☎0893（44）3410

お知らせ

6月は土砂災害月間

土砂災害でつぶれた家屋（財）消防科学総合センター提供

6月は梅雨前線などの影響で、大雨による災害が起きやすい季節です。

愛媛県や各市町では6月を「土砂災害月間」とし、河川・道路などの土木施設や工事現場のパトロールを強化し、危険箇所の発見や応急工事の実施など災害の未然防止に努めています。

皆さんも災害に備えて懐中電灯や携帯ラジオを常備してください。大雨のときにはテレビやラジオなどの災害情報に注意し、危険が迫ったらすぐに避難するなど、災害に対する警戒を十分に心掛けてください。

なお危険な箇所を見かけたときは、すぐに役場や八幡浜地方局・土木事務所などにお知らせください。災害の防止に皆さんのご協力をお願いします。

【問い合わせ】
総務課　危機管理班
☎0893（44）6150
建設デザイン課　管理係
☎0893（44）6157

農薬などの使用・保管は正しく安全に――

除草剤や農薬などは、適正に使用しないと人や家畜、ペットなどのほか、生活環境にも悪影響を及ぼす恐れがあります。

使用の際には、使用法や使用期間を必ず守ってください。また使用者本人や農作物、周辺環境に対する安全を十分に配慮して、使用後は専用の保管庫に入れて厳重に管理してください。

住民間のトラブルを防ぐために、散布する際には周辺住民に対して周知し、人や家畜、ペットなどが近くにいないかを十分に確認してください。

これからの季節は、農薬を使用する機会が増えますので、適切な使用をお願いします。

【問い合わせ】
産業振興課　農村支援センター（内子分庁内）
☎0893（44）2199

男女共同参画社会で未来の働き方を考える

「第22回男女共同参画社会づくり推進県民大会」の参加者を募集します。

●**日時**　6月20日（火）
午後1時～3時30分
●**場所**　ひめぎんホール（松山市）
●**基調講演**　青野慶久（よしひさ）さん（サイボウズ㈱代表取締役社長）
●**講演テーマ**　「経営戦略としての働き方改革～個性を引き出す人事の考え方～」
●**てい談**　「ひめボスが未来をつくる～変える、変わる。ワークスタイル」
●**参加費**　無料
●**申込方法**　電話、ファックスまたはメールでお申し込みください。

【申込・問い合わせ】
愛媛県男女参画・県民協働課
☎089（912）2332
FAX 089（912）2444
✉ danjokyodo@pref.ehime.lg.jp

大切な人を自死で亡くされた皆さんへ

大切な人を亡くして、一人でつらい思いを抱えていませんか。八幡浜保健所では、遺族の皆さんの思いに耳を傾け、少しでも支えになりたいと「自死遺族の方の相談」を行っています。まずは、ご連絡ください。

日時
▽来所面接　第3水曜日、午前9時～午後4時
※祝日の場合は、第2水曜日
▽家庭訪問　随時

費用　無料

※電話予約が必要です。

【申込・問い合わせ】
八幡浜保健所　精神保健係
☎0894(22)4111

八幡浜保健所の「ひきこもり相談」

ひきこもり本人（18歳以上）とその家族を対象に、電話や来所での相談を受け付けます。

日時　月～金曜日（祝日は除く）午前8時30分～午後5時15分

費用　無料

申込方法　電話相談（随時）
来所相談（電話予約）
※精神保健に関する相談も受け付けています。

【申込・問い合わせ】
八幡浜保健所　精神保健係
☎0894(22)4111

職場トラブルを円満解決 労働委員会の無料相談

愛媛県労働委員会では、労使関係のトラブルで困っている人のために、無料相談をしています。パワハラや突然の解雇で困っている人など、ぜひ一度ご相談ください。

《事務局職員相談》

日時　平日、午前8時30分～午後5時15分

※電話または面談。受け付けは随時してます。

《労働委員専門相談》

日時　第4金曜日、午後2時30分～5時

※12月は第2金曜日です。

申込方法　事前に電話でお申し込みください。

※先着3人程度受け付けます。

【申込・問い合わせ】
愛媛県労働委員会事務局
☎089(912)2996

特定健診・がん検診を受けよう

《病気の芽に気づく》

「不適切な食生活」「運動不足」などの不健康な生活習慣は、知らないうちに体に悪影響を与えます。そのような生活習慣が原因になる病気を『生活習慣病』といい、日本人の死亡原因の60%を占めています。これらの病気は初期の自覚症状はほとんどありませんが、健診を受けることでどんな病気になりかけているかが分かります。

《病気を重症化させない》

特定健診の主な目的は、メタボリック症候群になっていないかを調べることです。メタボになると動脈硬化が急速に進み、生活に支障がでる後遺症や、死につながる深刻な病気を発症しやすくなります。それを事前に食い止めるために特定健診があります。

《生活習慣を改善》

特定健診は結果を生かすことに意味があります。健診結果で悪化している項目が分かったら、それに合わせて生活習慣を改善しましょう。

《病気を早期発見・早期治療》

日本人の２人に１人はがんにかかるといわれています。健康だから今のままで大丈夫と思わずに、がん検診を受けて早期発見、早期治療につなげましょう。

《特定健診・がん検診で自身と家族を守る》

特定健診やがん検診を受けずに病気が発見されると、重症化している場合が多く、高額な治療費や入院費などがかかります。自身と家族を守るためにも、定期的に特定健診・がん検診を受けましょう。

「健康だから、今のままで大丈夫」
そんなあなたこそ要注意です――

7月の健康カレンダー

●母子保健

育児相談

日	時間	場所	対象
3（月）	午前９時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
5（水）		五十崎保健センター	
7（金）	午前９時30分～11時	内子保健センター	

乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
13（木）	午後１時～１時15分	内子保健センター	28年10月、11月生まれ

離乳食教室

日	受付時間	場所	対象
6（木）	午前９時15分～９時30分	内子保健センター	29年１月・２月生まれ

２歳Ｃｏｍｅかむ教室（虫歯予防教室）

日	受付時間	場所	対象
31（月）	午前９時30分～10時	内子保健センター	27年４月、５月生まれ

●成人保健

特定健診・各種がん検診

日	場所	時間
4（火）	内子東自治センター	午前８時30分～11時
10（月）～12（水）	内子自治センター	
14（金）	うちこ福祉館	
18（火）	森の里研修センター	
19（水）	参川地区体育館	
20（木）	立石自治会館	
21（金）	小田保健センター	
25（火）	五十崎凧博物館	
26（水）～28（金）	五十崎自治センター	

※４月に各種検診の申込みをされた方には、６月初めに問診票を送付します。申込みができておらず検診を希望される方は、保健センターへご相談ください。

【問い合わせ】
地域医療・健康増進センター（保健センター）
☎０８９３（４４）６１５５

人のうごき（敬称略／3月6日～4月5日届出分）

たかさご

金森　健太
水木真理子

村上　隆広
松田　恵里

中岡　一将
牧山　輝美

住田浩一郎
狩野亜希恵

ピーター・ローゼンバーグ
有田　和葉

うぶごえ ―♣男の子 ♥女の子―

♣宮岡　楽（裕司 香恵）内子８

♥矢野　想歩（慎太郎 実那）中町

♣平田亜良佳（秀樹 加奈）西沖

♣長岡　陽斗（佑樹 舞）西沖

おくやみ

宮瀬　敏男（70）内子５
黒田　龍兎（２）富長
吉野シゲコ（92）村前
西岡フヂコ（84）川登
奥切マチ子（95）江子
西岡　正幸（80）立川中央
松田　正義（79）上町
東照　洋一（57）新川町
本田スミカ（99）八代
古田サカエ（102）八代
久保與里子（91）古田
前田眞佐理（85）西沖
崎野　富子（91）福岡
酒井　ナミ（94）東組
大鍋　克繁（81）水地

まごころ銀行

皆様から寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

内子町社会福祉協議会

池田　和正様（内子４）
久保　千秋様（内子19第２）
篠﨑　和記様（護国）
吉野　博　様（村前）
山崎　熊夫様（中野）
西岡　政志様（川登）
奥切チヱ子様（江子）
菊地　榮子様（立川中央）
兵頭　豊子様（古田）
古田　條舒様（西沖）
増田　忠雄様（柿原）
源　誕行様（上宿間）
崎野　吉行様（福岡）
松本　義明様（立石）

【一般寄付】
むつみ会

まちの人口

29年4月1日現在（　）内は前月比

・人口　17,016人　（+14）
　男性　8,147人（＋17）
　女性　8,869人（△3）
・世帯数　7,190戸（+13）

7月の相談日・救急当番医

年金１日相談

日時：13（木）の午前10時～午後３時30分
場所：内子自治センター　※出張相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所
☎089（925）5110

行政相談

日時：11（火）の午前９時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／林業センター
問い合わせ：総務課　☎0893（44）6150

心配ごと相談

日時：11（火）の午前９時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会　☎0893（44）3820

人権相談

日時：11（火）の午前９時30分～正午
場所：内子町林業センター
問い合わせ：住民課　☎0893（44）6152

小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
2（日）	みかんこどもクリニック（八幡浜市）	0894（20）8800
9（日）	亀井小児科（大洲市）	0893（24）3757
16（日）	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894（24）1199
17（月）	おおむら小児科（内子町）	0893（44）7117
23（日）	守口小児科（八幡浜市）	0894（24）7770
30（日）	大洲ななほしクリニック	0893（25）7710

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

大洲喜多休日夜間急患センター　☎0893（23）1156

診療科目	診療時間
内科	○平日・土曜日：午後８時～11時 ○日曜日・祝日：午前９時～午後６時

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人が診察できます。

救急病院

日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893（24）2151
水	加戸病院	0893（44）5500
木	日中：大洲記念病院	0893（25）2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894（22）3211
金・土・日	大洲中央病院	0893（24）4551

広報うちこ
UCHIKO
2017 June vol.236
6

住人十色

第96回

高校卒業後、林業の道へ――
木と共に成長して、林業のプロを目指す

荒木　祥吾（しょうご）さん（18）＝大洲市＝

◎仕事が終わった後に、爽やかな笑顔で取材に応えてくれた荒木さん。測量作業と間伐が並行して行われている現場で

今年の春、大洲農業高校を卒業した荒木祥吾さん。内子町森林組合に入り、林業の道を歩み始めました。

きっかけは親の勧めと言う荒木さん。「御祓地区で育ったので、山や自然が大好きだった。人と話すのが苦手なので、接客業は向いてない」とはにかみながらも、「林業は山と向き合う仕事。測量で山に入ると、木が密集して成長を邪魔し合っているのがよく分かる。大変だけど、健康な山に戻れば、山も山主さんも喜んでくれるはず」とやりがいを語ります。

指導監督をしている沖野武志（たけし）さんが「木を倒したときの迫力や、大きな機械で作業をする感動など、たくさんの魅力がある仕事。若いのでいろいろ挑戦してほしい」と期待すると、荒木さんが「山で木を切る先輩たちの姿に憧れている。チェーンソーの資格が取れる研修が待ち遠しい」と笑顔で応えます。

最後に荒木さんは「入ってすぐ、杉の苗を植える作業をさせてもらった。植えるのは簡単だったけれど、これから下刈りや間伐をして苗を育てると思うと、自分の姿とも重なる。何十年もかかると思うけれど、立派に育ってほしいですね」と林業の未来に思いを馳せました。

発行／内子町　〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
☎0893(44)2111(代)／fax(44)4300
http://www.town.uchiko.ehime.jp
info-uchiko@town.uchiko.ehime.jp
内子分庁　〒791-3392 内子1515番地
☎0893(44)2112(代)／fax(44)6135
小田支所　〒791-3592 小田81番地
☎0892(52)3111(代)／fax(52)2303
編集・広報うちこ編集委員会

広報うちこは環境に優しい植物油インキを使用しています。
読み終えたら綴じて保存してください。きっとまたお役に立つときがあります。
VEGETABLE OIL INK

編集幸記

▽今月号では国際交流協会や森林組合の皆さんを取材して、まちづくりへの熱意を強く感じました。子どもたちや町のために力を注ぐ大人たちは格好いいですね。紙面からその思いが少しでも伝わればうれしいです（裕）

▽人☆キラリで取材した宮岡祥生さん。保育園を「家族」と表現するとおり、園児に囲まれた写真は大家族のようにも見えます。将来子どもができたら、この「家族」に仲間入りさせたいと思いました。まずは結婚が先ですが……（航）

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130